



令和 8 年（2026 年）4 月 7 日 公表
 令和 7 年版 山口県日本海側重要魚種の資源評価

アカアマダイ（日本海西・九州北西部）

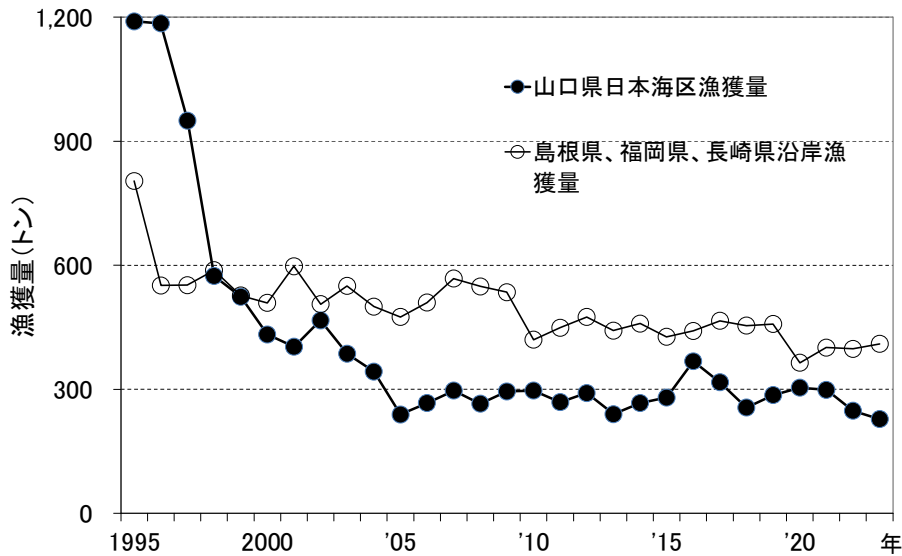


図 あまだい類山口県日本海区漁獲量及び島根県、福岡県、長崎県沿岸域の合計漁獲量（漁業・養殖業生産統計年報）の推移

【漁業】アカアマダイは主にあまだい延縄によって周年漁獲されるほか、見島周辺海域では春季を中心に釣りでも漁獲される。主な漁獲体長は 29～36cm（3～5 歳）である。

【漁獲量】山口県日本海区の漁獲量は、1999 年の新日韓漁業協定および 2000 年の新日中漁業協定により日本の経済水域が確定して以降、漁場が対馬周辺～日本海南西海域に縮小した影響で大きく減少し、2005 年以降は 200～300 トン台を推移している。

【資源状態】山口および長崎はえ縄 CPUE については、近年の減少により、資源水準を低位と中位の境界付近とみなした 2000 年代前半と同程度にあると考えられるものの、島根はえ縄 CPUE および加入水準の指標とした沖底 2 そうびきの標準化 CPUE は高い水準を維持していることから、資源水準は中位にあるものと判断した。また、沖合底びき網漁業の標準化 CPUE、島根県、山口県および長崎県のはえ縄漁業の各 CPUE の相乗平均から求めた資源量指標値の直近 5 年間の推移から、資源動向を増加と判断した

資源の水準・動向		2024 年漁獲量 (トン)	2026 年 ABC target (トン)	2026 年 ABC limit (トン)
水準	動向			
中位	増加	602	435	544